令和７年度　江戸川区立鹿骨中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・みずから学び考えて行動する生徒 ・思いやりのある豊かな心をもった生徒 ・健康で明るく勤労と責任を重んじる生徒			目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・共に磨きあうみんなが幸せになれる学校 ・主体的に切り拓く、自ら進んで、対話を大切にし、健康で、自他を大切にする生徒 ・チーム鹿骨で生徒を最も大切にする教職員、指導力、支援力のある教職員、自ら学び続ける教職員、30年後を見て教育ができる 教職員、　保護者、地域と協働できる教職員、保護者の思い、地域の願いを受け止める教職員
前年度までの本校の現状	成果	一人一人の個性や特性を大切にした教育活動を通して、生徒に成就感を味わわせることができた。 授業を大切にする姿勢が身に付き落ち着いた学校生活が実現した。		課題	一人一人の課題を解決できる授業力の向上。生徒が失敗を恐れず挑戦する力を向上させる。教育相談体制の確立。ＩＣＴを活用した指導の充実。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	**確かな学力の向上**	①鹿骨スタンダードの実践 ②「わかる授業」の実践 ③あじみこしの実践 ④教育課題実践推進校の取り組みによる授業改善	①「わかる授業」生徒の肯定的な意見を80% ②「基礎基本が身につく授業」の肯定的な意見を80											
	○読書科の更なる充実	①図書館を利用した探究的な学習 ②読書科ノートの活用、POPづくりやビブリオバトル ③教科での図書館活用（全教科年１回以上）	①図書館を利用した「調べる学習」生徒８０% ②未読率０%　探究的な学習80% ③「授業で図書館を利用した」生徒１００%											
体力向上	**○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実**	①体力テストの測定と結果の活用 ②保健体育科の授業での補強運動の実施 ③食育指導日の設定（栄養士との連携	①②「体力調査の結果」江戸川区東京都の平均以上 ③「食を意識して生活している」生徒７０%											
共生社会の実現に向けた教育の推進	**共生社会の実現に向けた教育の推進**	①特別支援教室の組織的運営 ②個別指導計画の作成と共有 ③支援を要する生徒の早期発見・対応 ④副籍交流 ⑤外国との交流	①「利用してよかった」特別支援教室利用生徒・保護者各８０% ②「先生やSCに相談しやすい」生徒、９０% ④、副籍交流の実施 ⑤海外の教員との交流											
不登校・いじめ対応の充実	**子どもたちの健全育成**	①いじめ撲滅宣言 ②年３回アンケートを実施 ③鹿骨ＳＮＳルール ④不登校生徒に寄り添う指導（エンカレッジルームの活用等） ⑤居場所となる学級指導	①「いじめの重大事態の発生件数」を０にする。 ②いじめ事案の解消を１００%にする。 ③「鹿骨ＳＮＳルールを守っている」生徒８０% ④不登校生徒４% ⑤SC、SSWの活用											
地域社会に開かれた学校（園）の	**ホームページ等による情報公開**	①ホームページの充実 ②学校応援団の活用 ③花いっぱい運動	①ホームページの更新回数 ②地域行事への参加人数											
	学校関係者評価の充実	①学校関係者評価年３回のアンケートの実施 ②保護者アンケート年２回の実施	①アンケート回収率80%											

令和７年度　江戸川区立鹿骨中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・みずから学び考えて行動する生徒 ・思いやりのある豊かな心をもった生徒 ・健康で明るく勤労と責任を重んじる生徒		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・共に磨きあうみんなが幸せになれる学校 ・主体的に切り拓く、自ら進んで、対話を大切にし、健康で、自他を大切にする生徒 ・チーム鹿骨で生徒を最も大切にする教職員、指導力、支援力のある教職員、自ら学び続ける教職員、30年後を見て教育ができる 教職員、　保護者、地域と協働できる教職員、保護者の思い、地域の願いを受け止める教職員
前年度までの本校の現状	成果	一人一人の個性や特性を大切にした教育活動を通して、生徒に成就感を味わわせることができた。 授業を大切にする姿勢が身に付き落ち着いた学校生活が実現した。	課題	一人一人の課題を解決できる授業力の向上。生徒が失敗を恐れず挑戦する力を向上させる。教育相談体制の確立。ＩＣＴを活用した指導の充実。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
実現に	地域と生徒が協力した行事の実施	ポプラ祭の実施	１０月に開催予定											
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	①「部活動ガイドラインの徹底 ②部活動指導員・外部指導員の活用 ③学校閉鎖期間の設定 ④定時退勤日の設定学校における働き方改革プラン」　に基づく取組の実施	教員の時間外在校時間を全員60時間以下を目標にする 部活動指導員の活用 部活動外部指導員活用											
	共磨き 生徒が主体なる学校行事	①運動会の実施 ②合唱コンクールの実施	実施後の生徒アンケート肯定的な意見80%以上											